キーホルダー 水引で作成

夏休みこども講座

金沢本部教室の夏休みこども工芸講座は26日、野町1丁目の津田水引折型で開かれ、6人の参加者が加賀水引の歴史を学んだり、水引細工を体験したりした。

水引細工の体験ではピンクや青などの水引とビーズをそれぞれ選んで組み合わせ、思い思いにキーホルダーを作った。

水引でキーホルダーを制作する参加者＝野町1丁目の津田水引折型

日中韓の城に理解

イコフォートセミナー

国際記念物遺跡会議（イコモス）の下部組織である国際城砦（じょうさい）軍事遺産専門委員会（イコフォート）の公開セミナー「近世東アジアの城郭を比較する」は26日、県教育会館で開かれた。日中韓の専門家が各国の城郭や軍事施設の特徴や変遷を紹介した。

イコフォート国内委員会主査で谷口吉郎・吉生記念金沢建築館長の三宅理一氏が基調講演した。三宅氏は3カ国が政治・軍事的な大激動期だった16～17世紀に城郭建築の技術革新が起きたとし、「戦乱が治まった18～19世紀に城郭の景観が人々に親しまれるようになった」などと話した。

県金沢城調査研究所長の冨田和気夫氏は金沢城の築城と石垣普請の歴史について、武蔵野大准教授の佐藤桂氏（金沢出身）は江戸時代に使われていた城郭の用語について講演。中国、韓国の研究者はそれぞれ清朝海軍の艦隊「北洋艦隊」の軍事施設、朝鮮王朝の軍制と築城を説明した。

日中韓の城郭について理解を深めた公開セミナー＝県教育会館

金沢ナイトミュージアム開幕

市役所前に屋台

金沢芸術創造財団などの「金沢ナイトミュージアム」（北國新聞社後援）は26日、開幕した。初日は地元のパフォーマンス集団が「即興宣伝屋台」と銘打った屋台大の車輪付きオブジェを引いて市役所前を練り歩き、会期中の多彩なイベントをPRした。

オープニングを彩った即興宣伝屋台は、金沢美大卒のアーティスト宮崎竜成さん（市内在住）らが制作。表面に公演のポスターを貼るなどして、通行人に開幕を知らせた。庁舎内では、国内外で活躍するアーティストが踊りやオリジナル楽器の演奏を披露した。

10月28日までの期間中、音楽や朗読、演劇など計30公演が行われる。

金沢ナイトミュージアムの開幕を知らせる即興宣伝屋台＝市役所前

人類史研究成果を報告

金大のフォーラム

金大の古代文明・文化資源学フォーラムは26日、県文教会館で学生ら約70人が参加して開かれ、同大古代文明・文化資源学研究所などに所属する7人が人類史研究の成果を報告した。

同研究所長の中村慎一副学長らが、紀元前の中国やメソポタミア文明、能登半島地震で被災した文化財などに関する先端研究を紹介した。

人類史研究に理解を深める参加者＝県文教会館

熱戦譜（北國新聞社後援）

グラウンドゴルフ

市協会会長杯交流大会（25日）

◇男子▽総合 ①鈴木祥行▽赤コース ①鈴木祥行②浅井寿一③安原正一▽青コース ①田中賢一②眞藤健③源俊郎

◇女子▽総合 ①田辺昭子▽赤コース ①大立喜美子②三宅順子③中瀬久子▽青コース ①田辺昭子②中島恵子③出雲敏子